

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1272900430		
法人名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	グループホームはつとみ		
所在地	鎌ヶ谷市初富204-4		
自己評価作成日	平成26年12月23日	評価結果市町村受理日	平成27年2月23日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人ACOPA		
所在地	千葉県我孫子市本町3-7-10		
訪問調査日	平成27年1月27日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

入居者様の笑顔が見ることのできる時間を共有するために、お一人お一人のご希望や想いを大切にしていきたいと考えております。  
 入居者様の生き活きとした表情を継続できるよう、行事、外食、ドライブ、散歩、買い物などを取り入れる努力をしています。  
 職員の入れ替わりが激しく、落ち着きませんでした。今後は定着した施設づくりを目指し、職員が同じ目標を持ち、技術の向上に努めたいと考えます。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

市内で最初に開設され、今春で9周年を迎える医療法人系列のグループホームである。系列の医療機関と訪問看護ステーションに支援された医療態勢は充実しており、利用者・家族に安心感を与えている。10月に経験豊富な新施設長が赴任し、新しい方針と新スローガン「あふれる笑顔」を掲げてスタートした。入居者も職員も共にいつも笑顔で過ごすホーム作りを目指しており、きめ細かく具体的な指導は徐々に成果を上げている。今回の利用者家族アンケートでも親身な介護に対して評価も高いが、「更なる利用者満足度の向上の為に、すべてはこれから」の思いを全職員で共有し、利用者本位の介護に向けて着実にスタートした。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念</b> 1272900430					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今までは会社の理念を共有しようとしていましたができていませんでした。 平成27年度は施設のスローガンを掲げ、共有に励みます。	会社理念の唱和に終わらず、事業所独自のスローガン「あふれる笑顔」を職員の総意で作り上げ共有し、実践する中で利用者本位の介護に取り組んでいる。	新スローガンをいつも念頭に置いた明るく、元気で、何でも話し合える事業所を作り上げて頂きたい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々とはなじみの関係が築かれております。今後は更に、市内のグループホームとの連携も取っていきたいと思います。	市内で最初のグループホームであり、近隣住民や自治会長等とも馴染みの関係が築かれている。ごみ収集場所の提供、エコキャップ回収のお世話、地域行事への参加等により、地域との付き合いも深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者様との近所のゴミ拾いやエコキャップ回収はこれから継続していきたい、また、認知症講習や認知症サポーター講習も検討中。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成26年10月より、2か月毎の会議を行っております。偶数月第3木曜日と設定をしました。	2ヶ月に1回の開催して、運営への理解を深めている。市高齢者支援課、包括支援センター、自治会長、地域住民、家族と出席者が多く、事業所運営の応援団と見守り役となっている。	定期的な運営を定着させ、事業所の課題や要望など積極的に話し合い、運営に活かして欲しい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所からは運営推進会議に参加して頂いております。医療機関とは連携が取れており、訪問看護はどんな小さな事でも駆けつけて下さいます。シルバーケア鎌ヶ谷との交流も進めております。	運営推進会議には市高齢者支援課及び包括支援センターの参加を得ており、その機会を利用し、現状の課題を説明している。市担当窓口とはいつでも相談できる関係が出来ている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを実践できています。入居者様の気持ちも拘束しないよう、心がけております。	職員研修やOJTで事例をあげて拘束の意味を理解しあい、身体拘束しないケアを実践している。玄関は交通事故防止対策の為に、家族の同意を得て施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者様の尊厳を守り、言葉遣いにも注意してケアができる環境づくりを心掛けています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修で学びたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	できています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置、面会時には最近のご様子をお伝えする、運営推進会議での意見交換ができています。毎月のご様子のお便りも開始予定です。	意見・要望は職員が積極的に聞き、サービスの改善に結び付けるように努めている。11月より事業所からの情報を伝える為に、「はつとみだよりと利用者毎の近況のお知らせ」を発行開始した。	「はつとみだよりと近況のお知らせ」の定期発行を定着させて頂きたい。また、編集、発行についても徐々に職員主体に移行できるように検討願いたい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見は本社に伝えることができます。	新施設長就任後、全職員との個人面談を実施して、意見や要望を聞き、重要事項は本社と相談して対応した。今後年2回の個人面談を継続し、全職員と話し合える職場風土づくりに努力している。	職員の意見・要望・提案を聞く機会を定着化させ、職員意見を事業所運営に反映してほしい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	安定した就業体制を取るために、本社では人員確保に協力してもらっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長会議は年2回実施、会議の後は施設長より職員へ伝授している。法人内外の研修も今年度から予定を組み入れていきたいと思っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括との関わりは継続、研修にも参加させて頂きます。市内のグループホームとの関わりを今年度の目標にしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際、ケアプラン更新時には計画作成担当者によるご本人、ご家族に意向を伺い、ケアプランに入れております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の際には計画作成担当者によるご本人、ご家族に意向を伺い、ケアプランに入れております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の際には計画作成担当者によるご本人、ご家族に意向を伺い、ケアプランに入れております。現在ご利用のサービスはヤクルト、訪問マッサージ、訪問歯科、訪問理美容です。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	関わり方については、職員個々によります。関わり方の難しい方への対応は、会議で意見交換し伝授し続け、学んでおります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	関わり方については、職員個々によります。ご家族からの意向は共有しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	散歩の途中でご近所の方に遭遇したことがあります。友人の訪問はありませんが、多くのご家族が面会に来られます。	月1～2回、面会に来る家族が多く、外食やかかりつけ医へ一緒に行く利用者もいる。また利用者の誕生日会に家族を誘い、本人と一緒に過ごせるよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士、気の合う方のお部屋で談笑される姿をよく目にします。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	この先、退去の方がおれば、努めていきたいと思います。先日、退去された方が遊びに来られておりました。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方本位の思いを想像した形のカンファレンスを実施しています。	センター方式書式の一部を活用し、カンファレンスシートに本人・家族・関わる担当職員の意見を記載し、カンファレンスで話し合い、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去の生活史をヒントに、その方の生きざまを想像して日々の生活に反映させています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できること、やりたいことなどの提供に励んでおります。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	複数の職員によるカンファレンス、ご本人、ご家族への聞き取りを行いケアプランを作成しています。	計画作成担当者が中心となり、カンファレンスシートと本人・家族からの聞き取りを基に、関係者と話し合い介護計画を作成している。短期目標の見直し時期にモニタリングを行い、計画書は家族に説明し理解を得ている。	面会に来る家族が多いので、今後は介護計画の話し合いに家族も参加して頂き、理解を深めて頂きたい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	新しく「個別の申し送り書」を使用し、共有しやすい環境を整えました。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	新しく「個別の申し送り書」を使用し、共有しやすい環境を整えました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方が訪れ、手作りのお飾りを持参してくださいました。グループホームむつみの入居者様が来られることもあります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご希望に沿った医療機関に受診して頂いています。	かかりつけ医の受診は家族が行い、他の利用者は医療法人の病院より月2回、訪問診療がある。系列の老人保健施設より週1回の訪問看護師の訪問と共に、毎日連携を取り合うことで緊急時の対応は迅速である。他に週1回の訪問歯科やマッサージの訪問もある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護へは毎日入居者様の様子を連絡、何かあればすぐに来ていただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	鎌ヶ谷総合病院への入院の際は、全てがスムーズに行われています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	今後、ターミナルを迎える方がいれば、きちんとした体制づくり、研修をしていきたいと思っております。現在はおりません。	「緊急時終末期に関する意思確認書」を作成し、家族の訪問時に順次、話し合っている。今後は家族と方針の統一、共有を図りながら、当ホームで看取りができる体制づくりに取り組み始めている。	ターミナルケアについては職員研修を、全職員で学び合い、チームで支援ができることを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応のマニュアルを更新しました。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火管理者を中心に、毎月1回の夜間想定での避難訓練を開始しました。自施設のマニュアルも完備しました。	平成26年11月に消防署の指導を受けている。「夜間火災発生時対応マニュアル」を元に毎月1回、当施設で夜間想定での避難訓練を実施し、より安全な避難方法を検討している。備蓄品は水・食料等、3日分を確保している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の尊厳を守り、言葉遣いにも注意してケアができる環境づくりを心掛けています。	利用者の尊厳を大切に、トイレやオムツ交換時等は耳元でそっと言葉かけを行い、トイレをいやがる方には優しく寄り添って、対応するよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を叶える為に傾聴し、イベントなどに取り入れようと、また好物を聞きだし、食して頂けるよう工夫しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の尊厳を守り、ベースの業務以外の臨機応変な対応が全職員ができるよう努めたいと思います。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好きな色、気安い形、選べる方はご自分で選んで着替えをされています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好物はイベントで取り入れている。食事作り、片付けにおいてもご自分からキッチンに立って下さる方がおられます。	できる方は食事の準備や後片付けに協力的で、食卓は利用者と職員、一緒に囲んでいる。また毎月のイベントは利用者の希望を募っており、おでん、ケーキ作り、出前ラーメン等の企画は楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事のチェックは職員がきちんと管理しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事毎の口腔ケアは習慣になっております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自立の方へも見守りを強化、誘導の方はこまめにチェックして声掛け誘導をしております。	日中はできる限り、トイレでの排泄が出来るように支援を行っている。各利用者の排泄パターンを把握し、そっと声掛けを行い誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、野菜、牛乳、体操や運動をしています。中には下剤、座薬での調整の方もおられます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	以前からの習慣で、職員の都合で午前中に入浴を開始している。この点はこれからの改善点です。	各フロア毎に、午前2人・午後1人づつ、一人が週2回～3回、入浴を楽しめるように対応している。拒否のある方は曜日や時間を変えることで清潔が保持されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の時間の使い方がうまくいっていません。一日のんびりしている姿も見受けられません。体を動かすこと、朝日を浴びること、考えていきます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	統一されておりません。出来る職員とできない職員に分かれています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	施設内での外出支援は少ないですが行っております。ご家族を交えての大きな外出イベントも検討していけると良いのですが。	暖かい日は玄関前で日向ぼっこを楽しみ、イベント時の食材の購入は近隣の路地販売へ職員と一緒にしている。季節毎の花見等は同系列のデイサービスの送迎バスを借り、多数の利用者と戸外に出かけ、個別の買い物や外食は希望により対応している。	今後も利用者が楽しみとなる外出支援の継続をお願いしたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	していません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	していません。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは暗いので、四六時中電気をつけておきたいが、入居者が「もったいない」といい消されてしまいます。気温についても管理できる職員とできない職員がおり、教育している最中です。	リビングでは「電気代がもったいない」と自分の居る場所の電気を消し、自分の家にいる時と同じ様に過ごしてる方もいる。他にボランティアの踊り、唄の会、紙芝居等、多くの利用者が一緒に楽しめるよう工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様同士、気の合う方のお部屋で談笑される姿をよく目にします。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	その方にあった家具や居室環境の中で生活して頂いております。	思い思いの家具を取り入れ、ベッドはその方の身体状態や希望に合わせて設置している。居室担当者と一緒に美化に配慮しながら、各利用者が居心地よく過ごせる居室作りに取り組んでいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様の意見を取り入れながら、物の位置や高さ、環境づくりを目指しております。		